

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 単元 ガイダンス 自己と他者 【知識及び技能】 科目の目的の理解 スピーチをする 【思考力、判断力、表現力等】 他者に伝える方法を考えて発表する 【学びに向かう力、人間性等】 他者のスピーチを聞いて、自己の表現力の向上に役立てる方法を深める	・指導事項 現代の国語の学習の目的 スピーチから傾聴する方法 ・教材 分りやすい説明をする 一人1台端末の活用 等 授業時の振り返り	●現代の国語を学ぶ目的を理解できたか。 ●1 分間スピーチの内容を考え準備できたか。 ●他者のスピーチを傾聴できたか。 ●他者のスピーチから学ぶことを見つけ、整理できたか。 ●他者のスピーチから思うことや考えることを文章に書くことができたか。	○		○	8
	B 単元 認識を深める 【知識及び技能】 音読 文章の読解 漢字の読み 【思考力、判断力、表現力等】 筆者の考えについて考えを深める 【学びに向かう力、人間性等】 他者と話し合いながら筆者の考えを深め、自分の見解をまとめる	・指導事項 音読 読解の方法 話し合いの方法 漢字テスト ・教材 水の東西 一人1台端末の活用 等 授業時の振り返り 意見の集約	●正しく本文を読み取れたか。 ●筆者の考えを正しく理解できたか。 ●他者と協力して文意を把握し、内容について理解を深められたか。 ●他者と意見を交換し、他者の考えを理解し、考えを深め、自分の見解をまとめられたか。		○	○	7
	定期考査			○	○		1
	C 単元 言葉と社会 1 【知識及び技能】 音読 文章の読解 漢字の読み グラフや図表の読み取り 【思考力、判断力、表現力等】 筆者の考えについて考えを深める グラフや図表から考えを深める 【学びに向かう力、人間性等】 他者と話し合いながら筆者の考えを深め、自分の見解をまとめる	・指導事項 音読 読解の方法 話し合いの方法 漢字テスト ・教材 言葉は世界を切り分ける 一人1台端末の活用 等 授業時の振り返り 意見の集約	●正しく本文を読み取れたか。 ●筆者の考えを正しく理解できたか。 ●他者と協力して文意を把握し、内容について理解を深められたか。 ●他者と意見を交換し、他者の考えを理解し、考えを深め、自分の見解をまとめられたか。	○			8
	D 単元 言葉と社会 2 【知識及び技能】 音読 文章の読解 漢字の読み 【思考力、判断力、表現力等】 筆者の考えについて考えを深める 【学びに向かう力、人間性等】 他者と話し合いながら筆者の考えを深め、自分の見解をまとめる	・指導事項 音読 読解の方法 話し合いの方法 漢字テスト ・教材 まちの豊かさとは何か 一人1台端末の活用 等 授業時の振り返り 意見の集約	●正しく本文や資料を読み取れたか。 ●筆者の考えを正しく理解できたか。 ●他者と協力して文意を把握し、内容について理解を深められたか。 ●他者と意見を交換し、他者の考えを理解し、考えを深め、自分の見解をまとめられたか。		○	○	9
定期考査				○	○		1
2 学期	E 単元 共に生きる 【知識及び技能】 音読 文章の読解 漢字の読み 【思考力、判断力、表現力等】 筆者の考えについて考えを深める 【学びに向かう力、人間性等】 他者と話し合いながら筆者の考えを深め、自分の見解をまとめる	・指導事項 音読 読解の方法 話し合いの方法 漢字テスト ・教材 自と市場、真の自立とは 一人1台端末の活用 等 授業時の振り返り 意見の集約	●正しく本文を読み取れたか。 ●筆者の考えを正しく理解できたか。 ●他者と協力して文意を把握し、内容について理解を深められたか。 ●他者と意見を交換し、他者の考えを理解し、考えを深め、自分の見解をまとめられたか。		○	○	11
	定期考査			○	○		1
	F 単元 世界を広げる 1 【知識及び技能】 音読 文章の読解 漢字の読み 資料の読み取り 【思考力、判断力、表現力等】 筆者の考えについて考えを深める グラフや図表から考えを深める 【学びに向かう力、人間性等】 他者と話し合いながら筆者の考えを深め、自分の見解をまとめる	・指導事項 音読 読解の方法 話し合いの方法 漢字テスト ・教材 白 一人1台端末の活用 等 授業時の振り返り 意見の集約	●正しく本文や資料を読み取れたか。 ●筆者の考えを正しく理解できたか。 ●他者と協力して文意を把握し、内容について理解を深められたか。 ●他者と意見を交換し、他者の考えを理解し、考えを深め、自分の見解をまとめられたか。	○		○	11
	定期考査				○	○	
3 学期	G 単元 世界を広げる 【知識及び技能】 音読 文章の読解 漢字の読み 【思考力、判断力、表現力等】 筆者の考えについて考えを深める 【学びに向かう力、人間性等】 他者と話し合いながら筆者の考えを深め、自分の見解をまとめる	・指導事項 音読 読解の方法 話し合いの方法 ・教材 機械は言葉を理解できるか 一人1台端末の活用 等 授業時の振り返り 意見の集約	●正しく本文を読み取れたか。 ●筆者の考えを正しく理解できたか。 ●他者と協力して文意を把握し、内容について理解を深められたか。 ●他者と意見を交換し、他者の考えを理解し、考えを深め、自分の見解をまとめられたか。		○	○	11
	H 単元 実用文を読む 【知識及び技能】 音読 文章の読解 漢字の読み グラフや図表の読み取り 【思考力、判断力、表現力等】 筆者の考えについて考えを深める グラフや図表から考えを深める 【学びに向かう力、人間性等】 他者と話し合いながら筆者の考えを深め、自分の見解をまとめる	・指導事項 音読 読解の方法 話し合いの方法 漢字テスト ・教材 実用文を読む 一人1台端末の活用 等 授業時の振り返り 意見の集約	●正しく本文やグラフや図表を読み取れたか。 ●筆者の考えを正しく理解できたか。 ●他者と協力して文意を把握し、内容について理解を深められたか。 ●他者と意見を交換し、他者の考えを理解し、考えを深め、自分の見解をまとめられたか。	○		○	8
	定期考査			○	○		合計 78
	定期考査				○	○	

年間授業計画

成瀬高等学校 令和 7 年度 （第 1 学年用） 教科 国語 科目 言語文化

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組 単位数： 3 単位

使用教科書：（精選言語文化 【東京書籍】）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 小説『羅生門』 【知識及び技能】 ・古文を読むための基礎的な時代背景を知る。 ・我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古典に関する幅広い知識と教養を身に付け、我が国の言語文化を尊重する態度を培う。	・音読を通して近代日本文学のリズムを知る。 ・傍訳や脚注を参照しての内容を読み取る。学習のポイント（読解）に取り組む ・学習のポイント「探究」に取り組む。 ・教科書、文法書、古語辞典、便覧、プリント、ICT等 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・近代文学を読むことを通して、我が国の文化の特質について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・古典の作品に関連のある事柄について様々な資料を調べ、その成果を発表したり報告書などにまとめたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、作者の価値観を理解しようとしている。	○	○	○	7
	B 説話「児のそら寝」 【知識及び技能】 ・古典文学を尊重するとともに、我が国の伝統文化への興味、関心を喚起して理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典作品の音読を通じて、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・説話のテーマにふれ、受け継がれてきた言葉の伝統に向き合う態度を養う。	・動詞の活用（正格活用）について理解する。 ・脚注や傍訳を参照しながら、正確に現代語訳をする。学習の手引き（読解）に取り組む。 ・作品や作者に関連した事項を調べる。学習の手引き「活動」（読む）に取り組む。 ・教科書、文法書、便覧、プリント、ICT。 ・一人1台端末の活用。	【知識・技能】 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・古典作品に興味をもち、作者のものの見方、感じ方を読み味わおうとしている。	○	○	○	12
	定期考查			○	○		1
	C 徒然草「丹波に出雲というところ」 【知識及び技能】 ・「徒然草」の構成と内容、随筆としての特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・登場人物の関係、その行動や心情をとらえ、人物や事件について、作者がどのように思っているかを考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場する人物の人間性に対する理解を深化する。	・音読、古語辞典の活用、動詞の活用（変格活用）、形容詞、形容動詞の活用について理解する。 ・傍訳や脚注を参照しての内容を読み取る。学習のポイント（読解）に取り組む ・学習のポイント「探究」に取り組む。 ・教科書、文法書、古語辞典、便覧、プリント、ICT等 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・中世随筆の特徴を踏まえ、人物や事件についての作者の視点を考えようとしている。	○	○	○	12
	D 漢文訓読の基本 【知識及び技能】 ・漢文訓読の原則を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・格言の音読を通して、漢文音読のリズムを体得する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・さまざまな言葉を通して、人間の生き方についての考えを深める。	・句形や構文、漢文特有語。 ・脚注や傍訳を参照しながら、正確に現代語訳をする。学習の手引き（読解）に取り組む。 ・学習の手引き「活動」（読む）に取り組む。 ・教科書、文法書、便覧、プリント、ICT。 ・一人1台端末の活用。	【知識・技能】 ・漢文を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・格言を読み、その内容や形式などに関して興味をもったことや疑問に感じたことについて、調べて発表したり議論したりしている。 ・古典の作品に関連のある事柄について様々な資料を調べ、その成果を発表したり報告書などにまとめたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常的に用いている格言について興味を持つことができる。	○	○	○	11
	定期考查			○	○		1

2 学 期	E. 故事成語「矛盾」「借虎威」 【知識及び技能】 ・漢文訓読の基本、文章の構成や展開の仕方について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・漢文作品に関する幅広い知識と教養を身に付け、同時に我が国の言語文化を尊重する態度を培う。	・音読（訓読）のリズムをつかみ正確に読む。 ・傍訳や脚注を参照しての内容を読み取る。学習のポイント（読解）に取り組む ・学習のポイント「探究」に取り組む。 ・教科書、文法書、古語辞典、便覧、プリント、ICT等 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・漢文を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・格言を読み、その内容や形式などに関して興味をもったことや疑問に感じたことについて、調べて発表したり議論したりしている。 ・古典の作品に関連のある事柄について様々な資料を調べ、その成果を発表したり報告書などにまとめたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常的に用いている故事成語について興味を持つことができる。	○	○	○	10
	F. 方丈記「ゆく河の流れ」 【知識及び技能】 ・「方丈記」の構成と内容、随筆としての特色を理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・筆者の心情をとらえ、その時代について、作者がどのように思っているかを考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・筆者の人間性に対する理解を深化する。	・音読、古語辞典の活用、助動詞の活用について理解する。 ・傍訳や脚注を参照しての内容を読み取る。学習のポイント（読解）に取り組む ・学習のポイント「探究」に取り組む。 ・教科書、文法書、古語辞典、便覧、プリント、ICT等 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・中世随筆の特徴を踏まえ、人物や事件についての作者の視点を考えようとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	G. 土佐日記「馬のはなむけ」「帰京」 【知識及び技能】 ・「土佐日記」の構成と内容、日記文学としての特色を理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・登場人物の関係、その行動や心情をとらえ、人物や事件について、作者がどのように思っているかを考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場する人物の人間性に対する理解を深化する。	・音読、古語辞典の活用、助動詞の活用について理解する。 ・傍訳や脚注を参照しての内容を読み取る。学習のポイント（読解）に取り組む ・学習のポイント「探究」に取り組む。 ・教科書、文法書、古語辞典、便覧、プリント、ICT等 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・古典の作品や文章を読み、その内容や形式などに関して興味をもったことや疑問に感じたことについて、調べて発表したり議論したりしている。 ・古典の作品に関連のある事柄について様々な資料を調べ、その成果を発表したり報告書などにまとめたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・時代背景を理解し、筆者を取り巻く状況を理解したうえで読解を行っている。	○	○	○	10
3 学 期	H. 漢詩 【知識及び技能】 ・漢文訓読の基本、詩の種類、規則について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、書き手の考えや情緒を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・漢詩作品に関する幅広い知識と教養を身に付け、同時に我が国の言語文化を尊重する態度を培う。	・音読（訓読）のリズムをつかみ正確に読む。 ・傍訳や脚注を参照しての内容を読み取る。学習のポイント（読解）に取り組む ・学習のポイント「探究」に取り組む。 ・教科書、文法書、古語辞典、便覧、プリント、ICT等 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・漢詩を読むために必要な詩形式のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、詩であることを踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・監視を読み、その内容や形式などに関して興味をもったことや疑問に感じたことについて、調べて発表したり議論したりしている。 ・それぞれの漢詩に関連のある事柄について様々な資料を調べ、その成果を発表したり報告書などにまとめたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・漢詩に描写された世界について興味を持つことができる。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	I. 「竹取物語」 【知識及び技能】 ・「竹取物語」の構成と内容、日本最古といわれる文学としての特色を理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・登場人物の関係、その行動や心情をとらえ、人物や事件について、作者がどのように思っているかを考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場する人物の状況に対する理解を深化する。	・音読、古語辞典の活用、用言及び助動詞の復習、敬語表現についての理解。 ・傍訳や脚注を参照しての内容を読み取る。学習のポイント（読解）に取り組む ・学習のポイント「探究」に取り組む。 ・教科書、文法書、古語辞典、便覧、プリント、ICT等 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、物語の内容や作品の背景、登場人物の思いをとらえようとしている。	○	○	○	16
3 学 期	J. 「論語」 【知識及び技能】 ・漢文訓読の基本、文章の構成や展開の仕方について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・漢文作品に関する幅広い知識と教養を身に付け、同時に我が国の言語文化を尊重する態度を培う。	・句形や構文、漢文特有語。 ・脚注や傍訳を参照しながら、正確に現代語訳をする。学習の手引き（読解）に取り組む。 ・作品や作者に関連した事項を調べる。学習の手引き「活動」（読む）に取り組む。 ・教科書、文法書、便覧、プリント、ICT、一人1台端末の活用。	【知識・技能】 ・漢文を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「論語」を読み、その内容に関して興味をもったことや疑問に感じたことについて、調べて発表したり議論したりしている。 ・「論語」の今日的な意味について様々な資料を調べ、その成果を発表したり報告書などにまとめたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常的に用いている「論語」の言葉について興味を持つことができる。	○	○	○	14
							合計
							117

年間授業計画

成瀬高等学校 令和 7 年度 (第 2 学年用) 教科 国語 科目 論理国語

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 7 組

単位数： 2 単位

使用教科書： (精選 論理国語 【東京書籍】)

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を高め、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるよ	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への意識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1 発見への誘い 【知識及び技能】 ・評論の基本的な読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・具体例が示しているものを丁寧に読み取り、筆者の主張を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・筆者の考え方について、自分の考えをまとめる。	・指導事項 論理展開が明快な文章を読んで、評論の基本的な読み方を習得する。 また、人間についての思索を深める。 ・教材 いつもそばには本があった ・一人 1 台端末の活用 等 授業時の振り返り	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得し、文章の中で積極的に活用している。 【思考、判断、表現】 ・評論という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にししながら要旨を正確に把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本文の内容を踏まえて「共感」という感情の意義について話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	○	○	○	8
	1 発見への誘い 【知識及び技能】 ・評論の基本的な読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・言葉の特徴と力を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・筆者の主張を捉え、自分自身の言葉を充実させる。	・指導事項 文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、人間の言葉の可能性について、幅広い視野から考えを深める。 ・教材 ミロのヴィーナス ・一人 1 台端末の活用 等 授業時の振り返り	【知識・技能】 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について十分に理解し、工夫を凝らして活用している。 【思考、判断、表現】 ・書き手の立場や目的を考えながら内容の解釈を多角的に高めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本文内容の正しい理解を踏まえて、筆者の考えを、わかりやすく丁寧にまとめようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	2 言語と認識 【知識及び技能】 ・比較等の構成に着目し、評論の基本的な読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・言語や文字に対して関心を持つ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・筆者の考えを読み取り、自らの問題として考える。	・指導事項 文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、課題について考える。 ・教材 相手依存の自己規定 ・一人 1 台端末の活用 等 ・授業時の振り返り	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得し、文章の中で積極的に活用している。 【思考、判断、表現】 ・文章で示される話題について、多様な論点から異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深め、再構成している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の考えについて話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	○	○	○	8
	2 言語と認識 【知識及び技能】 ・具体と抽象等の構成に着目し、評論の基本的な読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・科学に対して関心を持つ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・筆者の考えを読み取り、自らの問題として考える。	・指導事項 文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、課題について考える。 ・教材 科学的「発見」とは ・一人 1 台端末の活用 等 ・授業時の振り返り	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得し、文章の中で積極的に活用している。 【思考、判断、表現】 ・文章で示される話題について、多様な論点から異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深め、再構成している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の考えについて話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
2 学 期	3 人間を見つめる 【知識及び技能】 ・評論の読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の記述からメディアの存在意義や意味について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代におけるメディアの課題についての自分の考えを深める。	・指導事項 文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、変容するメディアとともに人間のありようについての自らの考えをまとめる。 ・教材 メディアの変容 ・一人 1 台端末の活用 等 ・授業時の振り返り	【知識・技能】 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について十分に理解し、工夫を凝らして活用している。 【思考、判断、表現】 ・内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にししながら要旨を正確に把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本文の内容について自ら考えたことを話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	○	○	○	12
	4 学問のまなざし 【知識及び技能】 ・評論の読み方に習熟する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・対比的な表現の効果を理解し、内容を正しく読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代社会について関心を持ち、自分の考えを深める。	・指導事項 文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、自らの文化に対する見方を見つめ直し、現代社会についての自分の考えを深める。 ・教材 「リスク」と「リスク社会」 ・一人 1 台端末の活用 等 ・授業時の振り返り	【知識・技能】 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について十分に理解し、工夫を凝らして活用している。 【思考、判断、表現】 ・内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にししながら要旨を正確に把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本文の内容を踏まえて、現代社会に関する筆者の見方について話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	○	○	○	12

3 学 期	5 社会を捉え直す 【知識及び技能】 ・評論の読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本文中に現れる筆者の批判について、理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日本の伝統的な考え方について思考を深める。	・指導事項 近代以降の日本の考え方等に関わる文章を読んで、筆者の考えを理解し、「今」につながる近代という時代や文化を見つめ直す。 ・教材 「である」ことと「する」こと ・一人1 台端末の活用 等 ・授業時の振り返り	【知識・技能】 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について十分に理解し、工夫を凝らして活用している。 【思考、判断、表現】 ・主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して、内容を正しく解釈し、考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本文内容を踏まえて、筆者の主張について話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	○	○	○	11
	6 イメージを読む 【知識及び技能】 ・評論の読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・論理の展開を捉え、筆者の主張を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・論文の内容をきっかけとして、日本の文化に関心を抱く。	・指導事項 文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、現代社会を読み解く視点を広げる。 ・教材 日本人の美意識 ・一人1 台端末の活用 等 ・授業時の振り返り	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得し、文章の中で積極的に活用している。 【思考、判断、表現】 ・内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を正確に把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・論理の展開に沿って筆者の主張を正しく理解し、わかりやすくまとめようとしている。	○	○	○	9
							合計
							78

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目	古典探究	の目標：
【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統文化に対する理解を深めることができるようにする。		論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】		
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 随筆（一）方丈記 （二）枕草子 【知識及び技能】 ・古文を読むための基礎的な知識を確認し、古典作品の特質を知る。 ・我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古典に関する幅広い知識と教養を身に付け、我が国の言語文化を尊重する態度を培う。	・音読、古語辞典の活用、用言及び助動詞の復習、確認 ・傍訳や脚注を参照しての内容を読み取る。学習のポイント（読解）に取り組む ・学習のポイント「探究」に取り組む。 ・教科書、文法書、古語辞典、便覧、プリント、ICT等 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・古典の作品に関連のある事柄について様々な資料を調べ、その成果を発表したり報告書などにまとめたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、作者の価値観を理解しようとしている。 ・宮中での生活について理解しようとしている。	○	○	○	7
	B 故事 【知識及び技能】 ・他国の文化を尊重するとともに、我が国の伝統文化への興味、関心を喚起して理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢語の特色を活かして構成された文章の訓読を通じて、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・それぞれのテーマにふれ、受け継がれてきた言葉の伝統に向き合う態度を養う。	・句形や構文、漢文特有語。 ・脚注や傍訳を参照しながら、正確に現代語訳をする。学習の手引き（読解）に取り組む。 ・作品や作者に関連した事項を調べる。学習の手引き「活動」（読む）に取り組む。 ・教科書、文法書、便覧、プリント、ICT等 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・漢詩に興味をもち、作者のものの見方、感じ方を読み味わおうとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	C 物語（三）大鏡 【知識及び技能】 ・「大鏡」の構成と内容、歴史物語としての特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・登場人物の関係、その行動や心情をとらえ、人物や事件について、作者がどのように思っているかを考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・歴史上実在する人物の生き方を通じて、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。	・音読、古語辞典の活用、用言及び助動詞の復習、確認 ・傍訳や脚注を参照しての内容を読み取る。学習のポイント（読解）に取り組む ・学習のポイント「探究」に取り組む。 ・教科書、文法書、古語辞典、便覧、プリント、ICT等 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・歴史物語の特徴を踏まえ、人物や事件についての作者の視点を考えようとしている。	○	○	○	12
	D 史伝 『史記』鴻門の会 【知識及び技能】 ・中国の歴史書の表現の特徴と我が国に与えた影響を知り、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・項羽と劉邦の生涯と世界史で学習したことがらとのつながりを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・さまざまな人物像をととして、人間の生き方についての考えを深める。	・句形や構文、漢文特有語。 ・脚注や傍訳を参照しながら、正確に現代語訳をする。学習の手引き（読解）に取り組む。 ・作品や作者に関連した事項を調べる。学習の手引き「活動」（読む）に取り組む。 ・教科書、文法書、便覧、プリント、ICT等 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・古典の作品や文章を読み、その内容や形式などに関して興味をもったことや疑問に感じたことについて、調べて発表したり議論したりしている。 ・古典の作品に関連のある事柄について様々な資料を調べ、その成果を発表したり報告書などにまとめたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・時代背景や登場人物に興味をもち、各陣営の戦略や、人物の心情・行動を読み取ろうとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1

2 学 期	E 日記 更級日記 【知識及び技能】 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古典に関する幅広い知識と教養を身に付け、我が国の言語文化を尊重する態度を培う。	・音読、古語辞典の活用、用言及び助動詞の復習、確認 ・傍訳や脚注を参照しての内容を読み取る。学習のポイント（読解）に取り組む ・学習のポイント「探究」に取り組む。 ・教科書、文法書、古語辞典、便覧、プリント、ICT等 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・『更級日記』や作者について関心をもち、女流日記文学への理解を深めようとしている。	○	○	○	21
	E 史伝 『史記』項王の最期 【知識及び技能】 ・中国の歴史書の表現の特徴と我が国に与えた影響を知り、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・項羽と劉邦の生涯と世界史で学習したことがらとのつながりを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・さまざまな人物像をとおして、人間の生き方についての考えを深める。	・句形や構文、漢文特有語。 ・脚注や傍訳を参照しながら、正確に現代語訳をする。学習の手引き（読解）に取り組む。 ・作品や作者に関連した事項を調べる。学習の手引き「活動」（読む）に取り組む。 ・教科書、文法書、便覧、プリント、ICT等 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・古典の作品や文章を読み、その内容や形式などに関して興味をもったことや疑問に感じたことについて、調べて発表したり議論したりしている。 ・古典の作品に関連のある事柄について様々な資料を調べ、その成果を発表したり報告書などにまとめたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・時代背景や登場人物に興味をもち、各陣営の戦略や、人物の心情・行動を読み取ろうとしている。	○	○	○	22
3 学 期	F 物語（二）源氏物語 桐壺 【知識及び技能】 ・「源氏物語」を通して長編物語がどう始まり、展開するかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・当時の婚姻制度や身分社会を踏まえ、光源氏が置かれた境遇について理解を深める。 ・和歌の比喻表現を理解し、和歌に込められた尼君と女房の心情について読みとる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古典に関する幅広い知識と教養を身に付け、我が国の言語文化を尊重する態度を培う。	・音読、古語辞典の活用、用言及び助動詞の復習、確認 ・傍訳や脚注を参照しての内容を読み取る。学習のポイント（読解）に取り組む ・学習のポイント「探究」に取り組む。 ・教科書、文法書、古語辞典、便覧、プリント、ICT等 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、物語の内容や作品の背景、登場人物の思いをとらえようとしている。	○	○	○	16
	G 思想 【知識及び技能】 ・儒家道家の思想を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・孔子の門人たちとのやりとりを通して、師弟のあり方や孔子の人柄を考える。 ・性善・性悪をめぐる古代思想家の考え方を理解し、人間観形成を助ける。 ・道家的な生き方と儒家的な生き方の違いについて考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・繰り返し読み、暗唱することを通して『論語』の思想を深く読み取り、自己の考え方を豊かにする。 ・背景となる諸子百家の状況について理解を深める	・句形や構文、漢文特有語。 ・脚注や傍訳を参照しながら、正確に現代語訳をする。学習の手引き（読解）に取り組む。 ・作品や作者に関連した事項を調べる。学習の手引き「活動」（読む）に取り組む。 ・教科書、文法書、便覧、プリント、ICT等 ・一人1台端末の活用。	【知識・技能】 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・同じ題材を取り上げた複数の古典の作品や文章を読み比べ、思想や感情などの共通点や相違点について論述したり発表したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・中国古代思想史について興味を持ち、現代に与えた影響について理解しようとしている。	○	○	○	14
							合計
							117

年間授業計画

成瀬 高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 国語 科目 論理国語

教科： 国語 科目： 論理国語 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 7 組

使用教科書： （ 探求論理国語（桐原書店） ）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への意識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標 1はⅠ部 2はⅡ部	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1 評論Ⅰ つながりの中で 【知識及び技能】 ・ 評論の基本的な読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 具体例が示しているものを丁寧に読み取り、筆者の主張を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ ヒトの「認知的共感」が社会にもたらす意義について、自分の考えをまとめる。	・ 指導事項 論理展開が明快な文章を読んで、評論の基本的な読み方を習得する。また、「共感」「ともに生きる」という観点から人間の存在についての思索を深めさせる。 ・ 教材 チンパンジーは「おせっかい」をしない ・ 一人1 台端末の活用等 ・ 授業時の振り返り	【知識・技能】 ・ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得し、文章の中で積極的に活用している。 【思考、判断、表現】 ・ 評論という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を正確に把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 本文の内容を踏まえて「共感」という感情の意義について話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	○	○	○	8
	1 評論Ⅱ 言葉の可能性 【知識及び技能】 ・ 評論の基本的な読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 演劇における台詞を通して、話し言葉の特徴と力を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 行動としての話し言葉という意味を捉え、自分自身の話し言葉を充実させる。	・ 指導事項 文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、人間の言葉の可能性について、幅広い視野から考えを深めさせる。 ・ 教材 行動としての話し言葉 ・ 一人1 台端末の活用 等 ・ 授業時の振り返り	【知識・技能】 ・ 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について十分に理解し、工夫を凝らして活用している。 【思考、判断、表現】 ・ 書き手の立場や目的を考えながら内容の解釈を多角的に高めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 本文内容の正しい理解を踏まえて、つうの台詞に込められた思いや意志についての自分の解釈を、わかりやすく丁寧にまとめようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	1 評論Ⅲ 環境に寄り添う営み 【知識及び技能】 ・ 二項対立による比較対照に着目し、評論の基本的な読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 世界の言語や文字に対して関心を持つ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 日本人と規範の関係についての筆者の考えを読み取り、自らの問題として考える。	・ 指導事項 文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、異文化理解と自然との共生の困難さについて考える。 ・ 教材 イスラム感覚 ・ 一人1 台端末の活用 等 ・ 授業時の振り返り	【知識・技能】 ・ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得し、文章の中で積極的に活用している。 【思考、判断、表現】 ・ 日本人と規範の関係について、多様な論点から異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深め、再構成している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 「ニッポン人は今、規範や律という人間が生きていくうえで不可欠な超自我的なものを失って右往左往している」という筆者の考えについて話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	○	○	○	8
	1 評論Ⅳ テクノロジーの開く世界 【知識及び技能】 ・ 評論の読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 情報機器の浸透によって変化した「写真」の存在意義や「写真行為」の意味について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ アンドロイドと人間の心の所在について関心を抱く。またロボットと人間の違いについて大まかに捉える。	・ 指導事項 文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、進歩する技術とともに人間のありようについての自らの考えをまとめさせる。 ・ 教材 ロボットは心を持つか ・ 一人1 台端末の活用 等 ・ 授業時の振り返り	【知識・技能】 ・ 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について十分に理解し、工夫を凝らして活用している。 【思考、判断、表現】 ・ 内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を正確に把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 本文の内容を踏まえて、「本文における心の捉え方」について話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	○	○	○	9
	センター試験・共通テスト（現代文）	演習を実施する。					
定期考査				○	○		1

2 学 期	2 評論Ⅲ 芸術と向き合う 【知識及び技能】 ・評論の読み方に習熟する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・借春について、「古今集」と正岡子規との感性の共通点を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古典和歌について関心を持ち、自分の考えを深める。	・指導事項 文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えたとともに、自らの文化に対する見方を見つめ直し、芸術についての自分の考えを深めさせる。 ・教材 「貫之は下手な歌よみ」か？ ・一人1台端末の活用 等 ・授業時の振り返り	【知識・技能】 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について十分に理解し、工夫を凝らして活用している。 【思考、判断、表現】 ・内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にししながら要旨を正確に把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本文の内容を踏まえて、古典和歌の力について話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	○	○	○	8
	2 近代を見つめる 【知識及び技能】 ・評論の読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「伝統」「国民性」に対する筆者の批判について、理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「日本人」「日本文化」とは何か、考える。	・指導事項 近代の知識人による日本文化、娯楽、アフォリズムについての文章を読んで、筆者の考えを理解し、「今」につながる近代という時代や文化を見つめ直す。 ・教材 日本文化私観 ・一人1台端末の活用 等 ・授業時の振り返り	【知識・技能】 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について十分に理解し、工夫を凝らして活用している。 【思考、判断、表現】 ・主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して、内容を正しく解釈し、考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本文内容を踏まえて、古い街並み保存と都市開発の優先について話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	評論解析 A 評論解析 B 【知識及び技能】 ・論文の基本的な読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・論理の展開を捉え、授業を実施することで他者に伝える力を習得する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・評論文の構造を分析し、アウトプットを通じて理解を深める。	・指導事項 文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えたとともに、生徒が授業を実施することで、文章を多角的にとらえ、伝える力を養う。 ・教材 一人1台端末の活用 等 ・授業時の振り返り	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得し、文章の中で積極的に活用している。 【思考、判断、表現】 ・内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を正確に把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・論理の展開に沿って筆者の主張を正しく理解し、わかりやすくまとめようとしている。	○	○	○	12
	センター試験・共通テスト（現代文）演習を実施する。						6
	定期考査			○	○		1
3 学 期	入試問題の演習（現代文）を実施する。			○	○		4
							合計
							78

年間授業計画

成瀬高等学校 令和 7 年度 (第 3 学年用) 教科 国語 科目 古典演習

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 7 組 単位数： 4 単位

使用教科書： (古典探究 文英堂)

教科 国語 の目標： 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 古典演習 の目標： 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の伝統文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 紀行 都のつと、物語 源氏物語 B 説話 宇治拾遺物語 語学 国文世々の跡 【知識及び技能】 ・古文を読むための知識を確認し、古典作品の特質を知る。 ・我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古典に関する幅広い知識と教養を身に付け、我が国の言語文化を尊重する態度を培う。	・音読、古語辞典の活用、用言及び助動詞の復習、確認 ・傍訳や脚注を参照しての内容を読み取る。学習のポイント(読解)に取り組む。 ・学習のポイント「探究」に取り組む。 ・教科書、文法書、古語辞典、便覧、プリント、ICT等 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・助動詞の基本事項についての確に捉えており、意味の見分け方や使い方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、登場人物の行動の理由を理解した上で、心情について理解を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・源氏物語、宇治拾遺物語の文学史における意義を理解し、登場人物の心情をつかもうとしている。	○	○	○	12
	C 説話 閑居の友 雑々集 D 物語 竹取物語 とりかへばや物語 【知識及び技能】 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古典に関する幅広い知識と教養を身に付け、我が国の言語文化を尊重する態度を培う。	・音読、古語辞典の活用、用言及び助動詞の復習、確認 ・傍訳や脚注を参照しての内容を読み取る。学習のポイント(読解)に取り組む。 ・学習のポイント「探究」に取り組む。 ・教科書、文法書、古語辞典、便覧、プリント、ICT等 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・古典の作品に関連のある事柄について様々な資料を調べ、その成果を発表したり報告書などにまとめたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、作者の価値観を理解しようとしている。 ・宮中での生活について理解しようとしている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	E 歌学 戴恩記文章 歌物語 大和物語 F 歌文集 鈴屋文集 軍記物語 平家物語 【知識及び技能】 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古典に関する幅広い知識と教養を身に付け、我が国の言語文化を尊重する態度を培う。	・音読、古語辞典の活用、用言及び助動詞の復習、確認 ・傍訳や脚注を参照しての内容を読み取る。学習のポイント(読解)に取り組む。 ・学習のポイント「探究」に取り組む。 ・教科書、文法書、古語辞典、便覧、プリント、ICT等 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、歌論や修辞法の基礎を抑え、和歌に対する解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・古典の作品に関連のある事柄について様々な資料を調べ、その成果を発表したり報告書などにまとめたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、作者の価値観を理解しようとしている。 ・宮中での生活について理解しようとしている。	○	○	○	14
	G 日記 更級日記／蜻蛉日記 ／中務内侍日記 【知識及び技能】 ・文法事項を総合的に確認し、特に歌語法に習熟して文脈を捉えられるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・物語展開や人間関係を把握し、それぞれの場面における登場人物の心情を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品を通して平安時代の社会や生活、信仰などを学び、歴史文化に関する視野を広げ、我が国の言語文化を尊重する態度を培う。	・音読、古語辞典の活用、用言及び助動詞の復習、確認 ・傍訳や脚注を参照しての内容を読み取る。学習のポイント(読解)に取り組む。 ・学習のポイント「探究」に取り組む。 ・教科書、文法書、古語辞典、便覧、プリント、ICT等 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。女性の手になる仮名日記文学の特質を理解し、その歴史的展開を学ぶ。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・古典の作品や文章を読み、その内容や形式などに関して興味をもったことや疑問に感じたことについて、調べて発表したり議論したりしている。 ・古典の作品に関連のある事柄について様々な資料を調べ、その成果を発表したり報告書などにまとめたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・時代背景や登場人物に興味をもち、各陣営の戦略や、人物の心情・行動を読み取ろうとしている。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1

2 学 期	H 評論 俊賴髄腦／無名抄／鈴屋文集／ 戴思記／御衣 【知識及び技能】 ・文法事項を総合的に確認し、特に敬語 法に習熟して文脈を捉えられるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・物語展開や人間関係を把握し、それぞ れの場面における登場人物の心情を読み 取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品を通してその時代の社会や生活、 信仰などを学び、歴史文化に関する視野 を広げ、我が国の言語文化を尊重する態 度を培う。	・音読、古語辞典の活用、用言及び助動 詞の復習、確認 ・傍訳や脚注を参照しての内容を読み取る。 学習のポイント（読解）に取り組む ・学習のポイント「探究」に取り組む。 ・教科書、文法書、古語辞典、便覧、プ リント、ICT等 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のき まりについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、 構成や展開などを的確に捉えている。 ・古典の作品や文章を読み、その内容や形式などに 関して興味をもったことや疑問に感じたことについ て、調べて発表したり議論したりしている。 ・古典の作品に関連のある事柄について様々な資料 を調べ、その成果を発表したり報告書などにまとめ たりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・時代背景や登場人物に興味をもち、各陣営の戦略 や、人物の心情・行動を読み取ろうとしている。	○	○	○	18
	I 評論 ／毎月抄／正徹物語／風姿花伝 ／去来抄／源氏物語玉の小櫛 【知識及び技能】 ・文法事項を総合的に確認し、特に敬語 法に習熟して文脈を捉えられるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・物語展開や人間関係を把握し、それぞ れの場面における登場人物の心情を読み 取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品を通してその時代の社会や生活、 信仰などを学び、歴史文化に関する視野 を広げ、我が国の言語文化を尊重する態 度を培う。 それぞれの評論の特色を学び、筆者の述 べる内容を理解する。 構成や展開を把握する。 筆者の考えに対し、自分なりの疑問や意 見を述べ、それを表現できる。 定期考査	・音読、古語辞典の活用、用言及び助動 詞の復習、確認 ・傍訳や脚注を参照しての内容を読み取る。 学習のポイント（読解）に取り組む ・学習のポイント「探究」に取り組む。 ・教科書、文法書、古語辞典、便覧、プ リント、ICT等 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解 を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリ ズム、修辞などの表現の特色について理解を深めて いる。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、 構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに 表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、 人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり 深めたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、物語の内容や作品の背景、登 場人物の思いをとらえようとしている。	○	○	○	18
	問題演習 【知識及び技能】 ・文法事項を総合的に確認し、特に敬語 法に習熟して文脈を捉えられるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・物語展開や人間関係を把握し、それぞ れの場面における登場人物の心情を読み 取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・『源氏物語』を通して平安時代の社会 や生活、信仰などを学び、歴史文化に関 する視野を広げ、我が国の言語文化を尊 重する態度を培う。	・音読、古語辞典の活用、用言及び助動 詞の復習、確認 ・傍訳や脚注を参照しての内容を読み取る。 学習のポイント（読解）に取り組む ・学習のポイント「探究」に取り組む。 ・教科書、文法書、古語辞典、便覧、プ リント、ICT等 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解 を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリ ズム、修辞などの表現の特色について理解を深めて いる。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、 構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに 表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、 人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり 深めたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、物語の内容や作品の背景、登 場人物の思いをとらえようとしている。	○	○	○	18
	問題演習 【知識及び技能】 ・文法事項を総合的に確認し、特に敬語 法に習熟して文脈を捉えられるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・物語展開や人間関係を把握し、それぞ れの場面における登場人物の心情を読み 取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・『源氏物語』を通して平安時代の社会 や生活、信仰などを学び、歴史文化に関 する視野を広げ、我が国の言語文化を尊 重する態度を培う。	・音読、古語辞典の活用、用言及び助動 詞の復習、確認 ・傍訳や脚注を参照しての内容を読み取る。 学習のポイント（読解）に取り組む ・学習のポイント「探究」に取り組む。 ・教科書、文法書、古語辞典、便覧、プ リント、ICT等 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解 を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリ ズム、修辞などの表現の特色について理解を深めて いる。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、 構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに 表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、 人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり 深めたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、物語の内容や作品の背景、登 場人物の思いをとらえようとしている。	○	○	○	18
定期考査				○	○		1
3 学 期	問題演習 【知識及び技能】 ・文法事項を総合的に確認し、特に敬語 法に習熟して文脈を捉えられるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・物語展開や人間関係を把握し、それぞ れの場面における登場人物の心情を読み 取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・『源氏物語』を通して平安時代の社会 や生活、信仰などを学び、歴史文化に関 する視野を広げ、我が国の言語文化を尊 重する態度を培う。	・音読、古語辞典の活用、用言及び助動 詞の復習、確認 ・傍訳や脚注を参照しての内容を読み取る。 学習のポイント（読解）に取り組む ・学習のポイント「探究」に取り組む。 ・教科書、文法書、古語辞典、便覧、プ リント、ICT等 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解 を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリ ズム、修辞などの表現の特色について理解を深めて いる。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、 構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに 表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、 人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり 深めたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、物語の内容や作品の背景、登 場人物の思いをとらえようとしている。	○	○	○	19
	定期考査				○	○	1
							合計
							156

年間授業計画

成瀬高等学校 令和 7 年度 (第 3 学年用) 教科 国語 科目 漢文演習

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 7 組 単位数： 2 単位

使用教科書： (古典探究 文英堂)

教科 国語 の目標： 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたって国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 漢文演習 の目標： 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の伝統文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	『晋書』 『文章軌範』 『世説新語』 【知識及び技能】 ・漢文を読むための知識を確認し、古典作品の特質を知る。 ・我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古典に関する幅広い知識と教養を身に付け、我が国の言語文化を尊重する態度を培う。	・音読、明説漢文の活用。 ・傍訳や脚注を参照しての内容を読み取る。 ・句法の確認。漢字の確認。 ・特に再読文字、否定形の確認。 ・教科書、古典文法書、明説漢文、便覧、プリント、ICT等 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、登場人物の行動の理由を理解した上で、心情について理解を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・漢文の文学史における意義を理解し、登場人物の心情をつかもうとしている。	○	○	○	6
	『西京雜記』 『後漢書』 『南齊書』 【知識及び技能】 ・漢文を読むための知識を確認し、古典作品の特質を知る。 ・我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古典に関する幅広い知識と教養を身に付け、我が国の言語文化を尊重する態度を培う。	・音読、明説漢文の活用。 ・傍訳や脚注を参照しての内容を読み取る。 ・句法の確認。漢字の確認。 ・特に使役形、受身形の確認。 ・教科書、古典文法書、明説漢文、便覧、プリント、ICT等 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、登場人物の行動の理由を理解した上で、心情について理解を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・漢文の文学史における意義を理解し、登場人物の心情をつかもうとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	『宋名臣言行録』 『蒙求』 『貞観政要』 【知識及び技能】 ・漢文を読むための知識を確認し、古典作品の特質を知る。 ・我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古典に関する幅広い知識と教養を身に付け、我が国の言語文化を尊重する態度を培う。	・音読、明説漢文の活用。 ・傍訳や脚注を参照しての内容を読み取る。 ・句法の確認。漢字の確認。 ・特に疑問形、反語形の確認。 ・教科書、古典文法書、明説漢文、便覧、プリント、ICT等 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、登場人物の行動の理由を理解した上で、心情について理解を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・漢文の文学史における意義を理解し、登場人物の心情をつかもうとしている。	○	○	○	6
	『史記』 『韓詩外伝』 『蒙求』 【知識及び技能】 ・漢文を読むための知識を確認し、古典作品の特質を知る。 ・我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古典に関する幅広い知識と教養を身に付け、我が国の言語文化を尊重する態度を培う。	・音読、明説漢文の活用。 ・傍訳や脚注を参照しての内容を読み取る。 ・句法の確認。漢字の確認。 ・特に疑問形、反語形の確認。 ・教科書、古典文法書、明説漢文、便覧、プリント、ICT等 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、登場人物の行動の理由を理解した上で、心情について理解を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・漢文の文学史における意義を理解し、登場人物の心情をつかもうとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1

	『春秋左氏伝』 『王維』 『白居易』 【知識及び技能】 ・漢文を読むための知識を確認し、古典作品の特質を知る。 ・我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古典に関する幅広い知識と教養を身に付け、我が国の言語文化を尊重する態度を培う。	・音読、明説漢文の活用。 ・傍訳や脚注を参照しての内容を読み取る。 ・句法の確認。漢字の確認。 ・特に漢詩の確認。 ・教科書、古典文法書、明説漢文、便覧、プリント、I C T等 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、登場人物の行動の理由を理解した上で、心情について理解を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・漢文の文学史における意義を理解し、登場人物の心情をつかもうとしている。				8
	『顔氏家訓』 『韓非子』 『孟子』 【知識及び技能】 ・漢文を読むための知識を確認し、古典作品の特質を知る。 ・我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古典に関する幅広い知識と教養を身に付け、我が国の言語文化を尊重する態度を培う。	・音読、明説漢文の活用。 ・傍訳や脚注を参照しての内容を読み取る。 ・句法の確認。漢字の確認。 ・特に思想の確認。 ・教科書、古典文法書、明説漢文、便覧、プリント、I C T等 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、登場人物の行動の理由を理解した上で、心情について理解を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・漢文の文学史における意義を理解し、登場人物の心情をつかもうとしている。				10
	定期考査						1
	2 学期	『論衡』 『列子』 『貞観政要』 【知識及び技能】 ・漢文を読むための知識を確認し、古典作品の特質を知る。 ・我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古典に関する幅広い知識と教養を身に付け、我が国の言語文化を尊重する態度を培う。	・音読、明説漢文の活用。 ・傍訳や脚注を参照しての内容を読み取る。 ・句法の確認。漢字の確認。 ・特に思想の確認。 ・教科書、古典文法書、明説漢文、便覧、プリント、I C T等 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、登場人物の行動の理由を理解した上で、心情について理解を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・漢文の文学史における意義を理解し、登場人物の心情をつかもうとしている。			
	『呂氏春秋』 『論語』 『捜神記』 【知識及び技能】 ・漢文を読むための知識を確認し、古典作品の特質を知る。 ・我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古典に関する幅広い知識と教養を身に付け、我が国の言語文化を尊重する態度を培う。	・音読、明説漢文の活用。 ・傍訳や脚注を参照しての内容を読み取る。 ・句法の確認。漢字の確認。 ・特に漢詩の確認。 ・教科書、古典文法書、明説漢文、便覧、プリント、I C T等 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、登場人物の行動の理由を理解した上で、心情について理解を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・漢文の文学史における意義を理解し、登場人物の心情をつかもうとしている。				10
	定期考査						1
	3 学期	『淮南子』 『本事詩』 【知識及び技能】 ・漢文を読むための知識を確認し、古典作品の特質を知る。 ・我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古典に関する幅広い知識と教養を身に付け、我が国の言語文化を尊重する態度を培う。	・音読、明説漢文の活用。 ・傍訳や脚注を参照しての内容を読み取る。 ・句法の確認。漢字の確認。 ・教科書、古典文法書、明説漢文、便覧、プリント、I C T等 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、登場人物の行動の理由を理解した上で、心情について理解を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・漢文の文学史における意義を理解し、登場人物の心情をつかもうとしている。			
定期考査							1
合計							
78							

年間授業計画

成瀬高等学校 令和 7 年度 (第 3 学年用) 教科 国語 科目 理系古典演習

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 7 組 単位数： 2 単位

使用教科書： (古典探究 文英堂)

教科 国語 の目標： 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたる国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 理系古典演習 の目標： 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の伝統文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	『方丈記』 『むぐら』 『夜の寝覚』 【知識及び技能】 ・古文を読むための知識を確認し、古典作品の特質を知る。 ・我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古典に関する幅広い知識と教養を身に付け、我が国の言語文化を尊重する態度を培う。	・音読、古語辞典の活用、用言及び助動詞の復習、確認 ・傍訳や脚注を参照しての内容を読み取る。 ・学習のポイント（読解）に取り組む。 ・教科書、文法書、古語辞典、便覧、プリント、ICT等 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・助動詞の基本事項についての確に捉えており、意味の見分け方や使い方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、登場人物の行動の理由を理解した上で、心情について理解を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古文の文学史における意義を理解し、登場人物の心情をつかもうとしている。	○	○	○	6
	『瑠玉集』 『三戒』 『商君書』 【知識及び技能】 ・漢文を読むための知識を確認し、古典作品の特質を知る。 ・我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古典に関する幅広い知識と教養を身に付け、我が国の言語文化を尊重する態度を培う。	・音読、明説漢文の活用。 ・傍訳や脚注を参照しての内容を読み取る。 ・句法の確認。漢字の確認。 ・特に使役形、受身形の確認。 ・教科書、古典文法書、明説漢文、便覧、プリント、ICT等 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、登場人物の行動の理由を理解した上で、心情について理解を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・漢文の文学史における意義を理解し、登場人物の心情をつかもうとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	『讃岐典侍日記』 『後頼朝』 『宇治拾遺物語』 『一条摂政御集』 【知識及び技能】 ・古文を読むための知識を確認し、古典作品の特質を知る。 ・我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古典に関する幅広い知識と教養を身に付け、我が国の言語文化を尊重する態度を培う。	・音読、古語辞典の活用、用言及び助動詞の復習、確認 ・傍訳や脚注を参照しての内容を読み取る。 ・学習のポイント（読解）に取り組む。 ・教科書、文法書、古語辞典、便覧、プリント、ICT等 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・助動詞の基本事項についての確に捉えており、意味の見分け方や使い方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、登場人物の行動の理由を理解した上で、心情について理解を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古文の文学史における意義を理解し、登場人物の心情をつかもうとしている。	○	○	○	6
	『随唐嘉話』 『国語』（史伝） 『臨安春雨初晴』・漢詩の歴史 【知識及び技能】 ・漢文を読むための知識を確認し、古典作品の特質を知る。 ・我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古典に関する幅広い知識と教養を身に付け、我が国の言語文化を尊重する態度を培う。	・音読、明説漢文の活用。 ・傍訳や脚注を参照しての内容を読み取る。 ・句法の確認。漢字の確認。 ・特に疑問形、反語形の確認。 ・教科書、古典文法書、明説漢文、便覧、プリント、ICT等 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、登場人物の行動の理由を理解した上で、心情について理解を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・漢文の文学史における意義を理解し、登場人物の心情をつかもうとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1

	『風に紅葉』 『近代秀歌』 『大和物語』 【知識及び技能】 ・古文を読むための知識を確認し、古典作品の特質を知る。 ・我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古典に関する幅広い知識と教養を身に付け、我が国の言語文化を尊重する態度を培う。	・音読、明説漢文の活用。 ・傍訳や脚注を参照しての内容を読み取る。 ・句法の確認。漢字の確認。 ・特に漢詩の確認。 ・教科書、古典文法書、明説漢文、便覧、プリント、I C T等 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・助動詞の基本事項についての確に捉えており、意味の見分け方や使い方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、登場人物の行動の理由を理解した上で、心情について理解を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古文の文学史における意義を理解し、登場人物の心情をつかもうとしている。	○	○	○	8	
	『譚海』（日本漢文） 『綴耕録』 『韻語陽秋』 【知識及び技能】 ・漢文を読むための知識を確認し、古典作品の特質を知る。 ・我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古典に関する幅広い知識と教養を身に付け、我が国の言語文化を尊重する態度を培う。	・音読、明説漢文の活用。 ・傍訳や脚注を参照しての内容を読み取る。 ・句法の確認。漢字の確認。 ・特に思想の確認。 ・教科書、古典文法書、明説漢文、便覧、プリント、I C T等 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、登場人物の行動の理由を理解した上で、心情について理解を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・漢文の文学史における意義を理解し、登場人物の心情をつかもうとしている。	○	○	○	10	
	定期考査			○	○		1	
	2 学 期	『源氏物語』 『本草物語』 『石上私淑言』 【知識及び技能】 ・文法事項を総合的に確認し、特に敬語法に習熟して文脈を捉えられるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・物語展開や人間関係を把握し、それぞれの場面における登場人物の心情を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品を通してその時代の社会や生活、信仰などを学び、歴史文化に関する視野を広げ、我が国の言語文化を尊重する態度を培う。	・音読、明説漢文の活用。 ・傍訳や脚注を参照しての内容を読み取る。 ・句法の確認。漢字の確認。 ・特に思想の確認。 ・教科書、古典文法書、明説漢文、便覧、プリント、I C T等 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、登場人物の行動の理由を理解した上で、心情について理解を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・漢文の文学史における意義を理解し、登場人物の心情をつかもうとしている。	○	○	○	8
	『韓昌黎集』 『資治通鑑』 『説通鑑論』 【知識及び技能】 ・漢文を読むための知識を確認し、古典作品の特質を知る。 ・我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古典に関する幅広い知識と教養を身に付け、我が国の言語文化を尊重する態度を培う。	・音読、明説漢文の活用。 ・傍訳や脚注を参照しての内容を読み取る。 ・句法の確認。漢字の確認。 ・教科書、古典文法書、明説漢文、便覧、プリント、I C T等 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、登場人物の行動の理由を理解した上で、心情について理解を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・漢文の文学史における意義を理解し、登場人物の心情をつかもうとしている。	○	○	○	10	
	定期考査			○	○		1	
3 学 期	問題演習 【知識及び技能】 ・文法事項を総合的に確認し、特に敬語法に習熟して文脈を捉えられるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・物語展開や人間関係を把握し、それぞれの場面における登場人物の心情を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・『源氏物語』を通して平安時代の社会や生活、信仰などを学び、歴史文化に関する視野を広げ、我が国の言語文化を尊重する態度を培う。	・音読、古語辞典の活用、用言及び助動詞の復習、確認 ・傍訳や脚注を参照しての内容を読み取る ・学習のポイント（読解）に取り組む ・学習のポイント「探究」に取り組む ・教科書、文法書、古語辞典、便覧、プリント、I C T等 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、物語の内容や作品の背景、登場人物の思いをとらえようとしている。	○	○	○	7	
	定期考査			○	○		1	
								合計
								78

成瀬高等学校 令和 7 年度 (第 3 学年用) 教科 国語 科目 現代国語演習

教科 国語 の目標：

科目 現代国語演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自己実現のために、大学入試選抜に必要な知識や技能を身に付けるようにする。	論理的思考能力や小説、随筆における読解力を伸ばすとともに、柔軟に対応できる力を養う。	言葉がもつ価値への意識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	大学入試問題(現代文)の解き方	論理的文章問題・文学的文章問題・ 国語頻出問題	【知識・技能】 読解を進めていくうえで必要な語句の知識 を習得し、問題の解き方、読み方を正しく身 に付け活用することができている。 【思考、判断、表現】 評論文、文学的文章といった文章の種類を 踏まえて、内容や構成などを的確にとらえ、 論点を明確にしながら要旨を正確に把握して いる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業で扱った演習問題の内容を自分なりに まとめて、問題傾向の分析や復習を積極的 に行っている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	大学入試問題(現代文)の解き方	論理的文章問題・文学的文章問題・ 国語頻出問題	【知識・技能】 読解を進めていくうえで必要な語句の知識 を習得し、問題の解き方、読み方を正しく身 に付け活用することができている。 【思考、判断、表現】 評論文、文学的文章といった文章の種類を 踏まえて、内容や構成などを的確にとらえ、 論点を明確にしながら要旨を正確に把握して いる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業で扱った演習問題の内容を自分なりに まとめて、問題傾向の分析や復習を積極的 に行っている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
2 学 期	大学入試問題(現代文)の解き方	論理的文章問題・文学的文章問題・ 国語頻出問題	【知識・技能】 読解を進めていくうえで必要な語句の知識 を習得し、問題の解き方、読み方を正しく身 に付け活用することができている。 【思考、判断、表現】 評論文、文学的文章といった文章の種類を 踏まえて、内容や構成などを的確にとらえ、 論点を明確にしながら要旨を正確に把握して いる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業で扱った演習問題の内容を自分なりに まとめて、問題傾向の分析や復習を積極的 に行っている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	大学入試問題(現代文)の解き方	論理的文章問題・文学的文章問題・ 国語頻出問題	【知識・技能】 読解を進めていくうえで必要な語句の知識 を習得し、問題の解き方、読み方を正しく身 に付け活用することができている。 【思考、判断、表現】 評論文、文学的文章といった文章の種類を 踏まえて、内容や構成などを的確にとらえ、 論点を明確にしながら要旨を正確に把握して いる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業で扱った演習問題の内容を自分なりに まとめて、問題傾向の分析や復習を積極的 に行っている。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
3 学 期	大学入試問題(現代文)の解き方	論理的文章問題・文学的文章問題・ 国語頻出問題	【知識・技能】 読解を進めていくうえで必要な語句の知識 を習得し、問題の解き方、読み方を正しく身 に付け活用することができている。 【思考、判断、表現】 評論文、文学的文章といった文章の種類を 踏まえて、内容や構成などを的確にとらえ、 論点を明確にしながら要旨を正確に把握して いる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業で扱った演習問題の内容を自分なりに まとめて、問題傾向の分析や復習を積極的 に行っている。				10
							合計
							78